

砺波市議会 12月定例会での市政一般質問

(注) 一般質問は5項目で、うち4項目を掲載。質問・答弁は全文ではなく、要旨のみ掲載しています。

●「伝える」から「伝わる」情報発信の推進について

①「伝える」情報発信から「伝わる」情報発信を目指し、誰にでも見やすくなりやすい「UDフォント」の活用について問う

本市から発信する文書等の字体は、読みやすさ、伝わりやすさへの工夫が必要であり、視力に関係なく、高齢者や子どもなど誰もが読みやすく、小さくても判別しやすい「UDフォント」を市役所の申請書や学校等のプリントなどに活用し、多くの人に正しい情報を伝えることが不可欠である。

今後、正しく伝わる情報発信のために、職員等に対して研修の機会を設け、「UDフォント」の活用について周知を図るなど、行政・教育分野が一体となり、市民の皆さまに「伝わる」情報発信を目指したい。

● 高齢者の認知症対策の推進について

①住み慣れた地域で暮らし続けるため、どのように認知症の方を支える事業を推進するのか問う

認知症にならないため、百歳体操などの「介護予防教室」の参加、認知症を正しく理解し温かく見守っていただくための「認知症サポーター養成講座」の開催、認知症の方を早期に発見する「認知症初期集中支援チーム」を設置するほか、万一、認知症の方が行方不明になった場合、「認知症高齢者等SOS緊急ダイヤルシステム」を導入し「ほっとなみ見守りシール交付事業」で、早期発見するための支援体制を進めたい。

また、認知症の本人やその家族の悩み事を相談する「認知症カフェ」の充実など、地域ぐるみでの支援につなげたい。

②スマホ等のGPS機能を活用した認知症高齢者の発見等の事業に対し、経費等の支援を問う

既に導入している県内の自治体では、専用のアプリの導入や、GPS機器の貸し付け、通信費用の定額補助など、様々な支援が行われているが、あまり普及していない。

まずは、「認知症高齢者等SOS緊急ダイヤルシステム事業」や「お出かけ安心損害保険事業」、「ほっとなみ見守りシール交付事業」の普及啓発に努めたい。

● 農業振興対策の推進について

①小麦粉の高騰が進むなか、米粉の活用を進めるための支援策について問う

県内における米粉の消費拡大に向け「とやま米粉

活用拡大緊急対策事業」として、「米粉活用研修会の開催」や「米粉食品・料理の商品開発支援」などを実施している。本市もこれら事業を、市内事業者へ情報提供し、県と連携して県産米粉の需要拡大を推進している。

また、「農商工連携推進事業」や「6次産業化支援事業」など、米粉を含めた農産物の商品開発には活用もあわせて情報提供したい。

②従来の農業体験活動だけでなく、最新鋭の技術を活かした農業の現状を学ぶことを問う

小学校5年生の社会科では「未来を支える食糧生産」の学習過程の中で、生産性を高める機械化の進展や耕地整理などを学び、学校によっては農業従事者をゲストティチャーに招いて、「スマート農業」について学んでいる。

最新の機械や作業を見ることで農業への関心がより深まるため、例えば、となみ野農協や農機具メーカーと連携して「最新の農業動画」をお借りし、教材として活用したり、「行政出前講座」を通じて最新の農業についてPRしたい。

● 子育て支援の推進について

①砺波市ホームページの結婚・子育てのコンテンツは情報が見にくく、もっと見やすい場所へ配置するなど、分かりやすい情報発信について問う

子育て支援アプリ「となみっ子なび」は、本年6月に導入以降、妊娠届を提出される方々に、その利用について説明し、登録・活用いただいている。

引き続き、子育て関連のページについて、利用しやすいデザインや内容の変更について検討するとともに、子育ての支援となる情報は、適時、更新を行い周知に努めたい。

②保育料の同時入所軽減適用範囲を小学生までに拡大することで、多くの子育て世帯の経済的な負担軽減が図られることについて問う

認定こども園、幼稚園、保育所に生計を同一にする世帯から、小学校就学前の子どもが2人以上いる場合は、保育料を出生の順位が第2位の子について2分の1の額に減ずる措置をしている。

同時入所の範囲を拡大することなどの負担軽減措置は、今後、子ども・子育てに関する国、県の施策の動向を注視し、また、他の自治体の例も参考にしながら、市独自の取組が必要か検討したい。

後援会だより

第7号 R5.1.5

向井みきお

感謝の気持ちを持って「となみ」のために尽くします



HP
URL: <https://www.mukai-mikio.jp/>



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、令和5年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。これからも、皆さまの声に耳を傾け、丁寧で柔軟な心を持ちながら、市政に向き合ってまいります。新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、新しい年が穏やかな年となることを心からお祈り申し上げます。

■県道坪野小矢部線 歩道拡幅と道路改良の事業 現地測量がスタート

- ・156号線油田交差点西側～
木下公民館前まで
道幅約6m→約8.5m
歩道拡幅2.5m 計約11m



■市道千代東石丸線消雪配管設備 工事完了



9/15～21 決算特別委員会

質 問	回答・成果
経常収支比率の上昇による今後の展望について	比較可能な令和2年度値では全国市町村平均値より少ない。総合計画後期計画が着実に推進できるよう努めていきたい。
全国市町村平均値より高い実質公債費比率の今後の展望について	令和4年度をピークに減少する見込み。将来負担比率は45.7%から29.1%へ減少しており、トータルで見極めていきたい。
デジタル教科書利用に伴う指導用教材備品費について	中学校は令和3年度、小学校は令和2年度の教科書改訂にあわせて整備済み。
子育て支援の効果と課題について	「三世代子育て応援給付金」「新生児出産サポート金」等効果が上がるよう制度についてさらに検討をしていきたい。

11/8 総務文教委員会

質 問	回答・成果
となみ子育て世帯応援臨時給付金給付事業費について	児童手当の受給世帯への支援を考え、市独自の取り組み「となみ10730」から、児童6000人が対象としたい。

12/16 総務文教委員会

質 問	回答・成果
部活コーディネーターについて	中学校現場や部活動の実情に詳しく、社会教育や社会体育の状況に精通している人材を配置したい。
いじめ・不登校について	いじめ認知件数は小学校は減少傾向、中学校は横ばい、引き続き解消率100%に向けた取り組みを推進したい。

皆さまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

後援会事務所 ☎0763-23-5166 ✉ muka185@amber.plala.or.jp

主な活動報告

9/15~21 令和3年度決算特別委員会

砺波市役所

10:00~



経常収支比率の上昇、全国市町村平均値より高い実質公債費比率、デジタル教科書利用に伴う指導用教材備品費、子育て支援の効果と課題について質問しました。

9/22 JAとなみ野・砺波市議会自民会 農政懇談会

となみ野農業協同組合本店

13:30~



本市の米に特化した現状とタマネギ生産の課題などを協議しました。今後も連携した関りが重要であることを再認識しました。

9/25 令和4年度砺波市防災デー・砺波市総合防災訓練

鷹栖・東野尻・五鹿屋

9:30~



災害発生時における感染症対策を講じた避難所運営の訓練を行い、住民の安全・安心を寄与することを目的に行われました。

10/5 砺波市議会議員研修会

砺波市立図書館

14:00~



「城端線沿線の地域交通の現状とこれからを考える」と題して、富山大学都市デザイン学部教授本田 豊氏から講演を伺いました。

10/15 第6回油田地区パークゴルフ大会

庄川河川敷公園

8:30~



初めてパークゴルフに参加。油田地区の皆さんと一緒に、青空と芝生が美しいゴルフ場でプレイできたこと、本当に楽しかったです。

10/16 油田地区自主防災避難訓練

石丸地区・中村地区

8:30~



この訓練を通じて、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持ちながら、災害による被害を予防し、軽減するための活動をお願いしたい。

10/19 庄川左岸地区国営総合農地防災事業(市内研修)

庄川左岸中央管理所

13:30~



この事業は①排水路をおおきくし、②2つの水路をつなげ、③洪水調整池をつくることで、砺波平野を守ってくれます。

10/27 富山県地方議員連絡協議会「砺波ブロック」意見交換会

TONAMI翔凜館

10:00~



新田知事から富山県成長戦略と令和4年度当初予算の概要について報告。新型コロナ対策や社会経済活動の両立にむけて、今後も政策推進を要望したい。

11/1 第16回地域医療政策セミナー(東京都)

東京都千代田区

13:00~



「公立病院の新型コロナウイルス感染症対応実績と今後の新興感染症感染に備えた対応」の研修。メンタルヘルスケアやモチベーション維持のための取り組み等の紹介。

11/8 令和4年第4回砺波市議会臨時会 総務文教常任委員会

砺波市役所

13:00~



「となみ子育て世帯応援臨時給付金給付事業費」について、市独自の取り組みで「となみ10730」から、児童6000人が対象と伺いました。

11/14~16 総務文教常任委員会行政視察(新潟県・長野県)

新潟県柏崎市、十日町市、長野県千曲市、大町市



新潟県では、危機管理体制の現状や市庁舎の概要、「まつのやま学園」の取組み等、長野県では、豪雨災害や「SDGs 未来都市」について視察しました。

11/17 砺波市議会・小矢部市議会議員研修会

JAとなみ野農業機械センター

10:30~

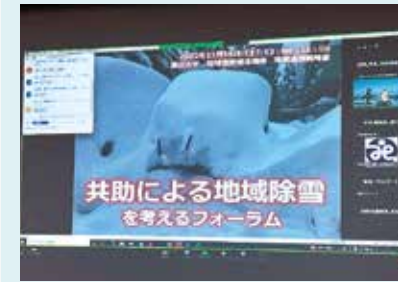


JAとなみ野大規模園芸施設(小松菜栽培ハウス、出荷調整施設)、たまねぎ集出荷施設(選別、集出荷施設)、農産物処理加工施設(たまねぎ乾燥施設)を見学。

11/19 共助による地域除雪を考えるフォーラム(オンライン)

油田自治振興会館

13:00~



富山大学地域連携推進機構地域連携戦略室塩見一三氏のオンライン研修を受講。豪雪地帯の共助除雪の体制づくりの普及が望まれます。

11/23 チューリップ公園KIRAKIRA ミッション2022光の応援団

砺波チューリップ公園

8:30~



チューリップ公園会場をキラキラ光らせる、LED装飾の取り付けボランティア。市民の皆さんと一緒に作り上げたイベントは、心に温かい灯をともします。

12/12 12月砺波市議会定例会一般質問

砺波市議場

13:00~



タブレットを使用して9項目の一般質問、施策に採用されるものや計画を推進するものなど本市の方針などを伺った。

12/16 総務文教常任委員会

砺波市役所

10:00~



「部活コーディネーター」、「いじめ・不登校」、「中学校教員の兼職兼業の意向調査」について本市の取り組みや考えを伺った。